

— 南総地区の人口 —

人口	20,206人
男	10,204人
女	10,002人
世帯数	世帯
令和6年5月1日現在	



編集
南総地区社協広報委員会
発行責任者
会長 児井 敏雄
事務局
南部エリア推進センター内
電話 92-1481

第2次南総地区行動計画2年目!!



☞地区社協の情報についてはこちらをご覧ください。

令和6年度の計画と予算が評議員会で承認されました。
今年度は第2次行動計画の2年目となり各施策に対する活動も本格化してまいります。

高齢者等に対する日常生活支援活動は、昨年末より試行を繰り返し、4月より本格運用に入りました。住民同士が助け合う「向こう三軒両隣」をルール化し、誰でも気持ちよく助け合って生活できることを願っております。この活動は災害時における支え合いにも大いに役立つと思っております。日常生活支援活動を円滑に運用するためには、多くのご協力いただける方々の参加が必要です。

なるべく多くの方に参加ご登録をいただき、支援活動要請時には、ご都合のつく方の中から、数名ずつご協力していただければ、ご負担も少なく快適な生活を送れると思います。どうぞよろしく願いいたします。

また中学生の皆様には、ご不要になりました制服、ジャージなどございませんか？ 新入生の中に必要と思っている方がいらっしゃいます。是非ご一報ください。皆でお互い同士助け合って、福祉のまちづくりに取り組んでいきたいと考えております。

今後とも皆様のご理解とご協力をよろしく願いいたします。



令和5年度災害ボランティアセンター、福祉避難所訓練参加の様子 (なのはな館)

令和6年度 重点的な取組

- **日常生活支援活動の展開**
☞ 日常のちょっとした困りごとを解決する活動を開始しました。

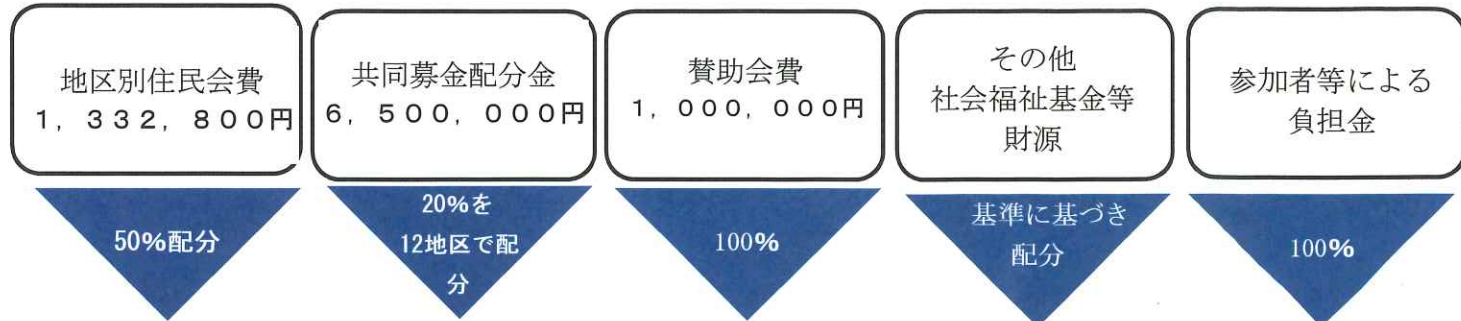


- **制服リユース活動の開始**
☞ ご不要になりました制服、ジャージなど必要な方にご利用頂きましょう。

令和6年度予算 総額¥3,440,000円

収入の概要

地域の皆様にご協力いただいている財源



I. 交付金 1,915,700円

(内訳)

①運営費補助金(基本事業費)	1,091,400円
②" (運営費)	40,000円
③" (加算分)	436,300円
④特別交付金	300,000円
⑤事務局拠点維持費	48,000円

II. 賛助会費 1,000,000円

III. 負担金 50,000円

IV. その他(繰越金等) 474,300円

支出の概要

I. 事業費 計 2,198,000円

共生型サロン事業 750,000円

◎地域の誰でも参加できるサロンとなります。

- ・ふれあいいきいきサロン(地区社協)
- ・茶話会(小域福祉ネットワーク)
- ・のびのびキッズ(子育て家計支援)

★日常生活支援事業 180,000円

◎住民参加型在宅福祉サービスの拡充を目指します。

★子どもの居場所づくり事業 30,000円

★お互いさまの地域づくり事業 30,000円

★は新規の取組み

福祉バザー事業 100,000円

◎11月17日(日) 南総公民館

相談支援事業 60,000円

◎毎週土曜日13時~15時 なのはな館相談室

広報事業 160,000円

◎広報紙「ふれあい」年2回発行(6、12月)

その他の事業 888,000円

- | | |
|--------------------|------------|
| 災害支援ボランティア事業 | ・人材育成事業 |
| ・小域福祉ネットワーク連絡会議 | ・地域福祉講座 |
| ・高齢者支え合い事業(第2層協議体) | ・地域ふれあい会食会 |
| ・地域福祉支援事業 | |

II. 協力団体への活動助成金 561,000円

III. 事務費・管理費等 689,000円



『日常生活支援事業』がスタート！

「日常生活支援事業」は、戸田・寺谷・牛久・鶴舞・内田・平三の
6地区ごとに実施します。

● 支援対象者

◇ 公的支援や民間サービスが利用できない南総地区在住の方

● 支援内容

【屋外作業】 生活するのに困る場所の草取り・草刈り、買い物品の配達

【屋内作業】 電球の交換、家具（テーブル・イス・TVなどを含む）の移動



● 利用の流れ

- ① 利用したい人は、町会や老人クラブの役員、民生委員、安心見守り員などに相談をする。
- ② 相談を受けた人は、南総地区社会福祉協議会に連絡をする。
《 受付日時 毎週土曜日 13時～15時 TEL 070-5579-7626 》
- ③ 作業責任者は、現地調査に行き、支援作業を行うかの判断をする。
- ④ 作業をする場合は、支援員（作業を行う人）と日程調整をして実施する。

● 利用料金

◇ 「利用料金表」に基づいて支払う。

制服リユースの取組み

『困ったときは おたがい様！』の気持ちで行う活動です。



まだ使えるけど、もう着なくなった制服やジャージ（特に南総中学校制服等）の
寄附を受け、その次にその制服を必要とする世帯へ繋ぎます。

今年度は、制服の寄附受入れをメインに事業展開を行います。

※ 「つなぐ Tsunagu」 と共催で実施します。

ボランティアグループ 『なのはな健康大使』

『なのはな健康大使』は、南部保健福祉センター（なのはな館）で月1回（第3水曜日）活動しています。

当日は、受付で出席カードにシールを貼り、血圧を測り準備します。準備体操のラジオ体操から始め、ひばりエクササイズ解説付きから入ります。レクリエーションのダーツ・玉入れ・ゲーゴルゲーム・ペタンクゲームなど参加者は童心にかえり真剣に頑張っています。

保健師さんによる時期に合わせたミニ講話をいただいたときは、皆さんとても真剣に聞き入っています。

広報活動にはパンフレットを作り、なのはな館や近くの公民館、コミュニティセンターに置かせていただいています。『なのはな健康大使』の仲間と、軽い体操・脳トレ体操をして皆さんと認知症予防や社会参加につながる活動を目指して頑張っています。無料です。皆さんぜひご参加ください。

090-8687-4236 担当 田中



活動の様子



トピックス



鶴舞地区 小域福祉ネットワークの資源回収

毎月第2土曜日に13町会が資源回収を行って、鶴舞消防小屋横の中古保冷庫まで運んでいます。

当初、適当な回収場所がなくて困っていましたが、偶然に馬立の線路脇に沢山の保冷庫が置いてあるのを見つけ販売している方より購入し、鶴舞まで運んでいただきました。

中古の保冷庫なので狭いのですが、前部に雑誌、後部に新聞を搬入することにしました。搬入する方が新聞と雑誌を同時に持つてくる事も多く分別しながら置く作業は1人では難しく1人~2人の方に助けていただいて搬入しています。

朝の7時30分~8時30分の約1時間で庫内が一杯となりますが、暑い時は大汗をかいて搬入作業をおこなっています。

お手伝いは民生委員や町会と「椎の木会」の方のお応援をいただき搬入車から保冷庫まで運んでいます。

こうして回収した資源物の売上げは、小域福祉ネットワーク活動の広報誌発行、小学校のパトロール、地域の防犯パトロール、高齢者の見守り活動の応援資金として活用されています。(編集委員)



資源回収の様子

なのはな館情報

児童館の『図書室』



お茶の間で人気の「ちこちゃん」「おしりたんてい」をはじめ、幼児向けの絵本を中心に、昆虫や植物などの図鑑、『パンドロぼう』『サバイバルシリーズ』などの人気の本を読むことができます。ぜひ本を読みに来てください。

これからの梅雨でジメジメした日を、なのはな館図書室で快適に過ごしませんか？

編集後記

年の初めに「昨年あまりいい年ではなかったので、今年いい年にしたいね」なんて聞くことありませんか？ ところで良い事って何？ “宝くじに当たる”

“仕事が上手くいく” “給料が上がる” ことかな？

でも、最近思うことは、良い事って「たくさんの人との出会いや話し合いを通じて、自分の心が豊かになる事かな？」と 感じるようになりました。自分の新たな発見ですね。

今、南総地区で進めている日常生活支援事業も「人との繋がり」を広げていく事ではないでしょうか。日本では古くから“向こう三軒両隣”と云う言葉がありますが、先ずはここからスタートかな？

編集委員

- 河津 敏郎 (内田)
- 加藤 功 (牛久)
- 大井 守 (鶴舞)
- 金高 義幸 (平三)
- 牧野 雅夫 (戸田)
- 前川 清 (寺谷)